Hj
Health Food Journal
食品化学新聞社WEBサイト
www.foodchemicalnews.co.jp
●購読のお申し込み、お問い合わせは
books@foodchemicalnews.co.jpまで

米国・中国で特許化

― 東栄新薬 ―

露地栽培アガリクスの専門メーカーである東栄新薬（東京都三鷹市）は、露地栽培アガリクスKA21の主成分であるβ-グルカンの分析測定技術で米国および中国で特許が確立した。

測定技術は東京薬科大学薬学部免疫学教室との共同研究の中で発案されたもので、昨年2月に日本で、今年9月に米国に続き、10月9日には中国では授権公告をもって特許権が発効した。発明の名称は米国および中国も「β-1，6-分岐β-1，3-グルカンまたはβ-1，3-グルカンの検出・定量キットおよび検出・定量方法」。米国特許番号は「US12736534B2」、中国特許番号は「ZL202180032661.0」。

β-グルカンはアガリクスなどのキノコの主成分で統合様式や分岐構造によって性質が異なるが、今回の測定技術は、分割したレポータータンパク質を利用して、β-1，6-分岐-1，3-グルカンとβ-1，6-グルカンを検出し、定量する方法とキットのことである。対象のグルカンが検体に含まれると、それぞれ結合する融合タンパク質によって活性型のレポータータンパク質が再構成され、その量を測ることで定量する。

同社の露地栽培アガリクスKA21は南米ブラジルの露地栽培で太陽を浴びて大きく育ったもの。複数のβ-(1-6)-グルカンとβ-(1-3)-グルカンが結合した構造をしている。